

EXCITING MICRO BIKINIS



女子

水着
打倒四四

一九八〇年代半ばから九〇年代にかけてあったハイレグ水着全盛期。

アイドルやキャンギャル（死語）は言うに及ばず、世のイケてる（死語）女性達は競って股間に食い込むビキニや腰までえぐれたワンピースで雑誌やスポーツ新聞にブラウン管（死語）を飾り、お立ち台（死語）で踊り狂い、東京の神宮プールなどはハイレグ非らずんば水着でないなどという状態だったといえます。

過激さはエスカレートしていき布地はヒモ状になり着ていないのとさほど変わらないような過激なデザインの物まで登場。

エロ水着、エロビキニなどと陰口を叩かれながらもアメリカを中心に世界中を席卷しました。

アメリカではビキニズやジェリー、日本でもディプロといったメーカーは一躍トップ水着メーカーになっていきました。

しかし、世界的に景気が低迷し始めると何故か水着の面積は巨大ローレグ化。

最大手のビキニズをはじめ多くのメーカーが倒産。普及し始めたネット通販にシフトし生き残りを計ったメーカーもありましたが多くはブラウン管と共に店頭からは消えていきました。

そして、恐竜に例えられる程、過去の遺物と化しつつありました。

しかし、数年前から徐々にその良さが見直されてきました！

全裸よりイヤラシイ…いや、女性の美しさを引き立てるエロ水着。

エクストリームビキニあるいはマイクロビキニと云った名前で復活を果たしつつあります。

早くも今年も夏はまたクソ暑くなるという予報が出ています。地球温暖化に備えてホットなエロ水着カタログ作ってみました。

データオタクの久我山砲台君の協力の元、ディテールの解説なども盛り込みました。

絵師の皆さんの参考になる程の代物ではないかと思いますが、本作を見て一人でもエロ水着を書く方が増えることを願っても止みません。

リーバイス渡辺

Bikiniis

DIAMOND

ビキニズはハイレグビキニの全盛期に大胆なデザインで一世を風靡したカルフォルニアの水着メーカー。

八〇年代のハイレグビキニムーブメントの始まりとなったのがこの水着と云われている。

ビキニコンテストやボディビルコンテスト出場者がこぞって着用したことで有名になった。

ボトムはTバックのものとフルバックのものがあり、真ん中に縫い目があるのが特徴。

ビキニサイドを腰骨に引っ掛けるような位置で履くようになっている。

ダイヤモンドという名前で発売されていた。



Bikinis

N
O
V
A
T
O
P

ビキニズが一九九〇年代初頭に発表したビキニ。

ノバトップと名付けられていたが、ビキニトップの形がクモの巣に見えることから
スパイダー・ビキニと呼ばれた。

複数のメーカーから似た似たデザインのビキニが発売された。



Bikinis



ボトムストラップが肩まであるビキニボトム。
ビキニズが九〇年代中頃に発売したもので、スリングショットと呼ばれるシリーズ
のひとつ。

ボトムのバックはヒモ状のGストリングと呼ばれるTバックになっている。
ビキニトップとのセットではなくボトム単品で売られていた。

DuBio!

Hello Extreme String Bikini

フロリダのドゥビオ・ビキニは二〇〇五年にできたメーカー。
ハロー・エクストリーム・ストリング・ビキニはボトムのクロッチ部分がカットされ、股間が丸出しになる大胆なデザインでビキニトップも乳首の部分だけ覆ってある大胆なデザインになっている。



Vixen

V
NVR

サンディエゴのNVRストリングスの
マイクロビキニ。
ヴィクセンという名前がつけられている。
ストラップが丸ヒモではなく平たいリ
ボンタイプなのが特徴。



DESIGNS
COLLEEN KELLY

TEAR DROP



マイクロビキニが歴史の中に消え去りそうになっていた二〇〇〇年代
初頭に衝撃的なまでに大胆なデザインで登場したコリン・ケリーの水着。
ティア・ドロップと名付けられた水着は涙滴型の生地ToStrappに
透明なシリコン製テグスが使われ、オツパイと股間に極小の生地が張り
付いているだけのように見える。
プレイボーイ・マガジンのモデルが着用したことで一躍有名になり、
マイクロビキニ復活のきっかけとなった。

Arrow Head

ダイヤ・ドロップと同時期に「リン・ケリー」が発売したアロー・ヘッドと名付けられたビキニ。
矢印型の生地と透明のシリコン製テグスで作られている。
当時まだ珍しかったメタリックカラーの生地が使われている。



DESIGNS
COLLEEN KELLY



二〇〇〇年代中頃よりコリン・ケリーやウィッキド・ヴィゼールによってエロ水着業界は息を吹き返した。

新しくできた水着メーカーはもとより、水着ショップでも2社の水着デザインを真似たものを出し始めた。

人気のあったティアドロップビキニは意匠登録を避けるためイラストのようにレモン型の光沢のないライクラ生地にはライクラのストラップという作りのものが多い。



wickedweasel WW

Turning Heads Since 1999



オーストラリアのウィッキド・ヴィゼールは九〇年代末のマイクロビキニ不毛の時代に
南半球の地で気を吐いた水着メーカーである。

伸縮性の高いライクラ生地とストラップをリングで止める構造は吸い付くように身体
にフィットする。

ウィッキド・ヴィゼールの水着は全て番号で分類されていて、[「ビキニトップNew 2014」](#)
[「キニボトム404」](#)はウィッキド・ヴィゼール代表する「ビキニ」だ。

Elegant Moments



下着メーカーのエlegant・モーメントの水着はプールやリゾートで
使える実用的なものから露出度の高いものまで様々なタイプが揃って
いる。

二〇一〇年頃より水着のラインナップを充実させていて、中でもこ
の81283はデザイン性と露出度の高いビキニの筆頭。

Du Bio!

Nothing Extreme
String Bikini



ドウビオ・ビキニズのナツシング・エクストリーム・ビキニ。
三角ビキニの枠だけで体を覆う部分がなく、全て丸出しと
いう名前の通り何も無いエクストリームなデザインのビキニ。

DuBio!

Nothing Extreme String Bikini

ドゥビオ・ビキニのナッシング・エクストリーム・ビキニのボトムはこの
タイプの水着に多いGストリングではなくフルバックと呼ばれる尻全体を
覆うデザインになっている。
もちろんお尻の部分にも生地はなく全て見えてしまうデザインになって
いる。



Allure Extreme
String Bikini

DuBio!

ショーツ・キミーの

アリュール・エクストリーム

・キミー。

ハローと同じタイプでメン

ブの三角が小さいのが特徴。

・キミー・キミー・キミー・キミー

で甲斐がないよおね。



Bitsys Bikinis

Peek a Boo

アトランタのビッチー・ビキニズのピーカーブーは
三角ビキニの布地の一部を切り取ったようなデザイン
が特徴でボトムはGストリングになっている。



SKINZ

EST. 1986

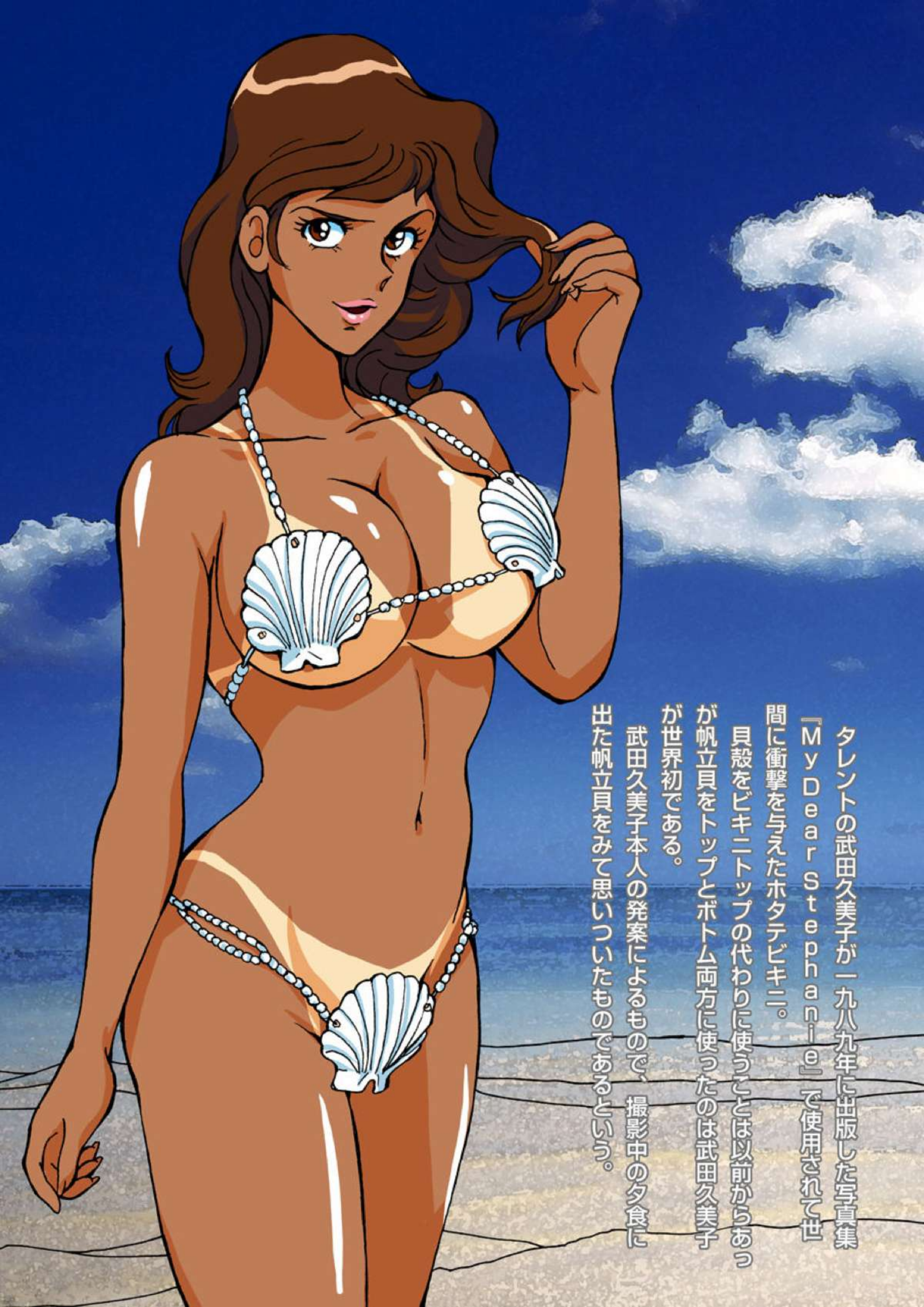
Brazilian Pucker Butt Bikini

カリフォルニアのスキんズは一九八六年に設立された老舗エロ水着メーカー。

スキんズが元祖のブラジリアンスタイルのシュリンクビキニ。

½ビキニボトムと呼ばれる小さめのビキニの真ん中にシャーリングがつけられたヒップを強調するデザイン。





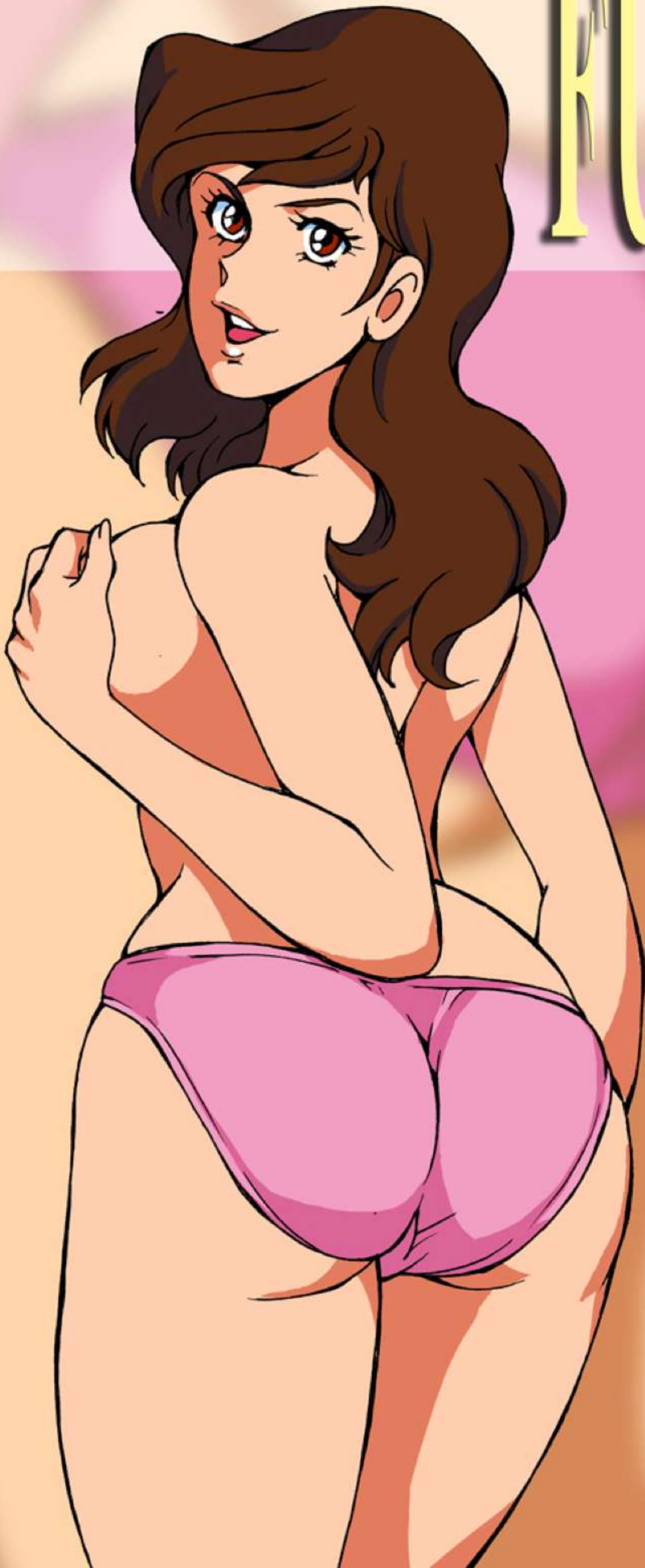
タレントの武田久美子が一九八九年に出版した写真集『My Dear Stephanie』で使用されて世間に衝撃を与えたホタテビキニ。
貝殻をビキニトップの代わりに使うことは以前からあつが帆立貝をトップとボトム両方に使ったのは武田久美子が世界初である。
武田久美子本人の発案によるもので、撮影中の夕食に出た帆立貝をみて思いついたものであるという。

the-**Bikini.com**
Zipper Extreme Bikini



ザ・ビキニのジッパー・エキストラリム・
ビキニはパンツなどのファスナー部分の
パーツをビキニにしたデザイン。
ジッパーはイラストのように開閉できる。

FULLBUCK



お尻全体を覆う形のデザインのビキニ。
日本の大手水着メーカーのほとんどがこのデザインでビキニ
を作っている。

動くとき食い込みやすいため、アメリカやヨーロッパの水着メ
ーカーではローライズのビキニと子供用に使われている。
ブラジルなどでは「おばあちゃんのビキニ」と呼ばれている。

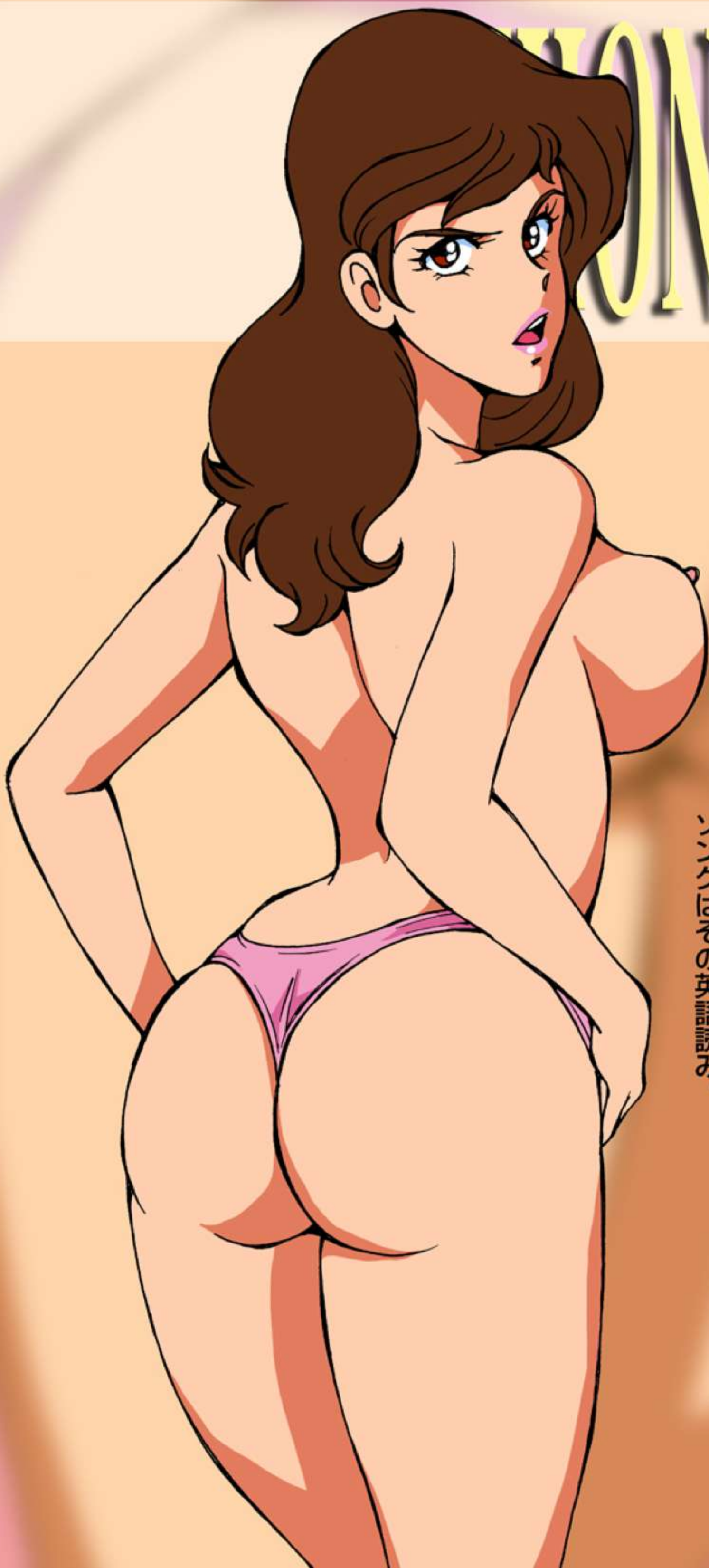
RIOBUCK



九〇年代にハイレグビキニが出始めた頃に現れた
デザイン。

当初はフルバックに対して $\frac{2}{3}$ バックと呼ばれていたが、リオデジャネイロのビーチで人気になったため、ブラジリアンバックあるいはリオバックと呼ばれるようになった。

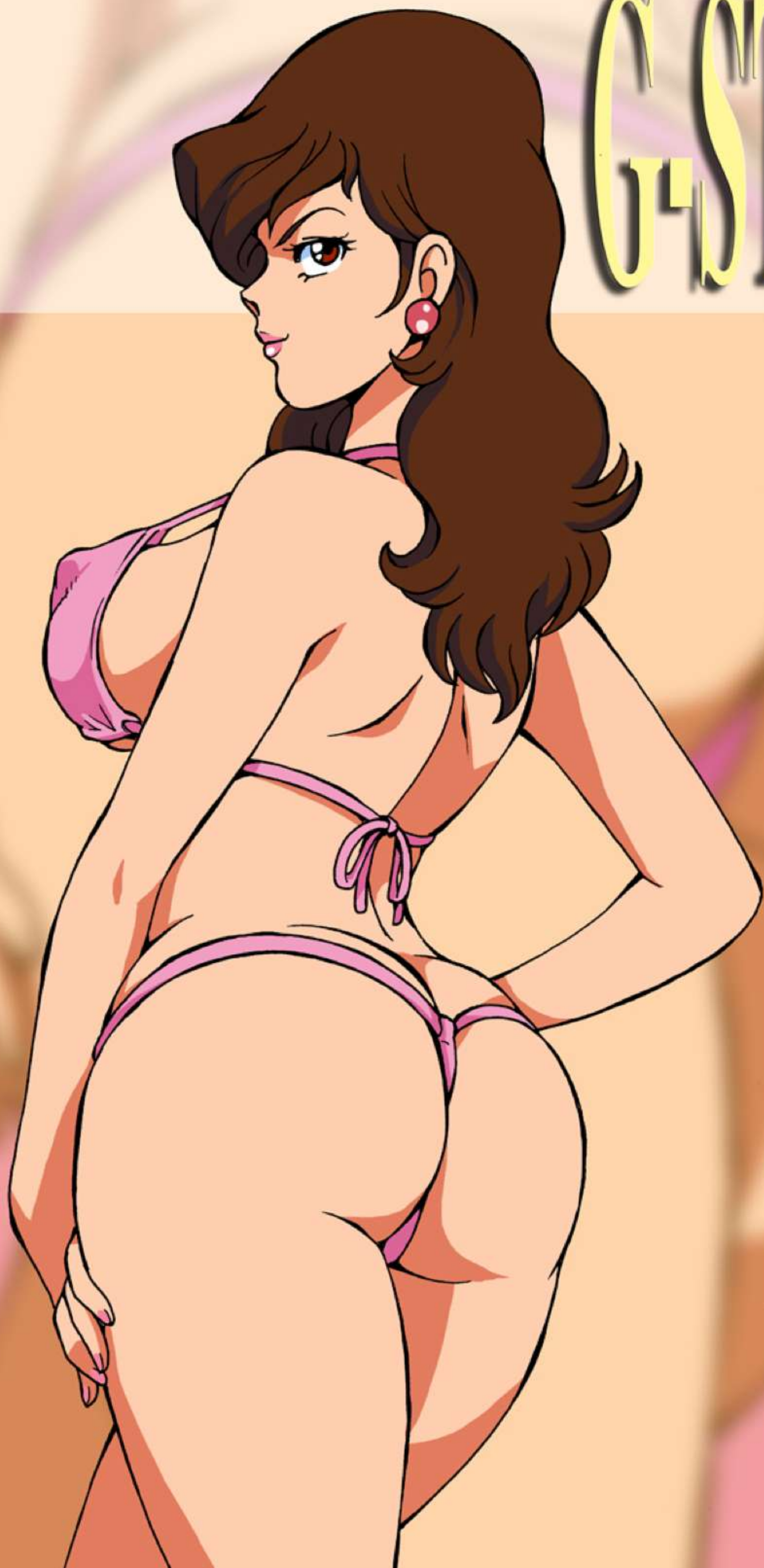
SONGBUCK



日本ではTバックと呼ばれているデザイン。
アメリカやヨーロッパではソングバック、タンガと呼ば
れている。

語源となったのはタンガはブラジルの河川で漁をする人
が局部をヒルなどから守るために使っていた陶器や土器製
のプロテクターのことである。
ソングはその英語読み。

G-STRING



日本ではこのデザインのビキニボトムもTバックと呼ばれるがアメリカやヨーロッパではGストリングと呼ばれる。

靴下を吊るガードル・ストリングに形が似ていることからGストリングと呼ばれるようになった。

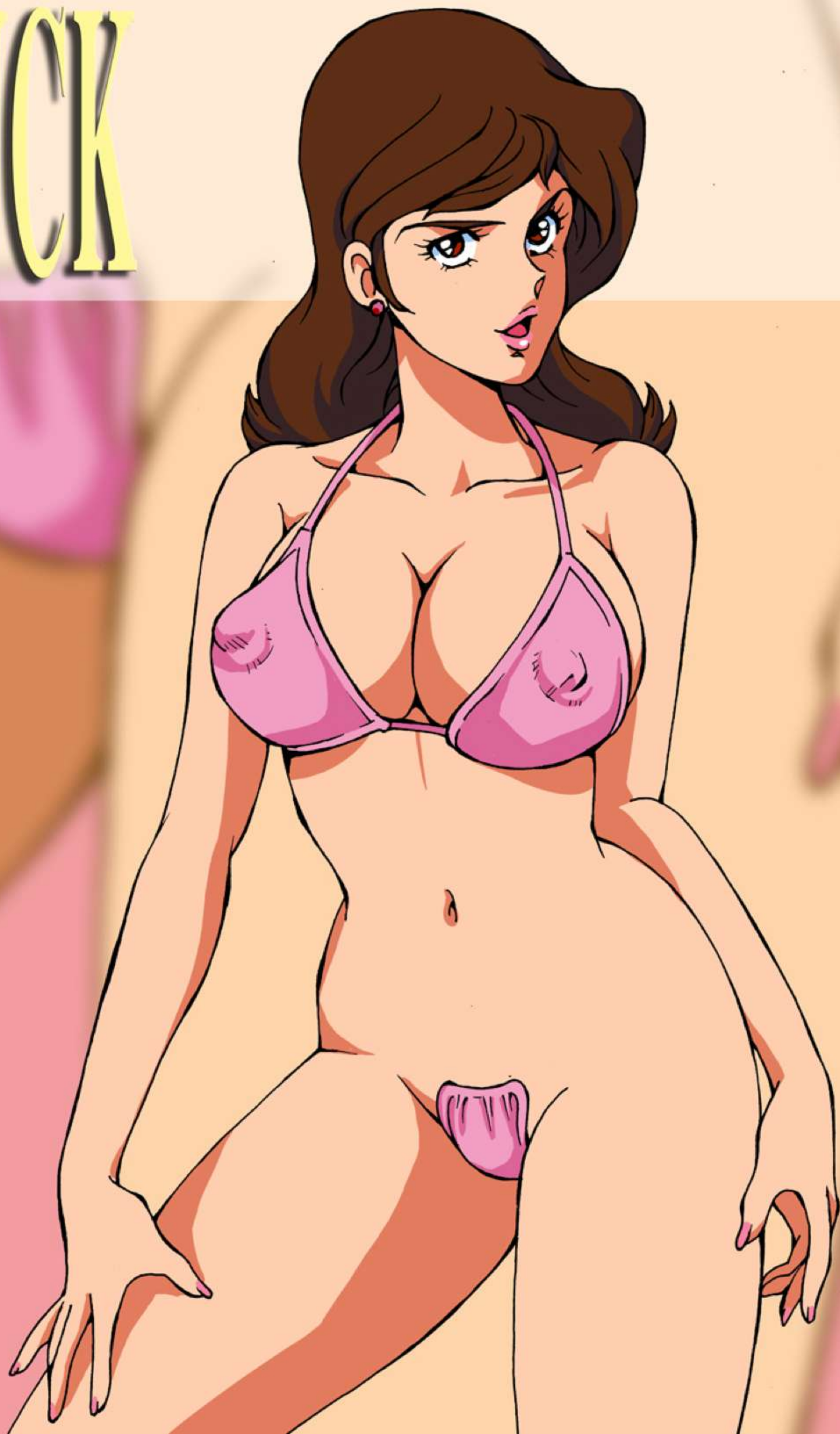
CRUNCHBUCK



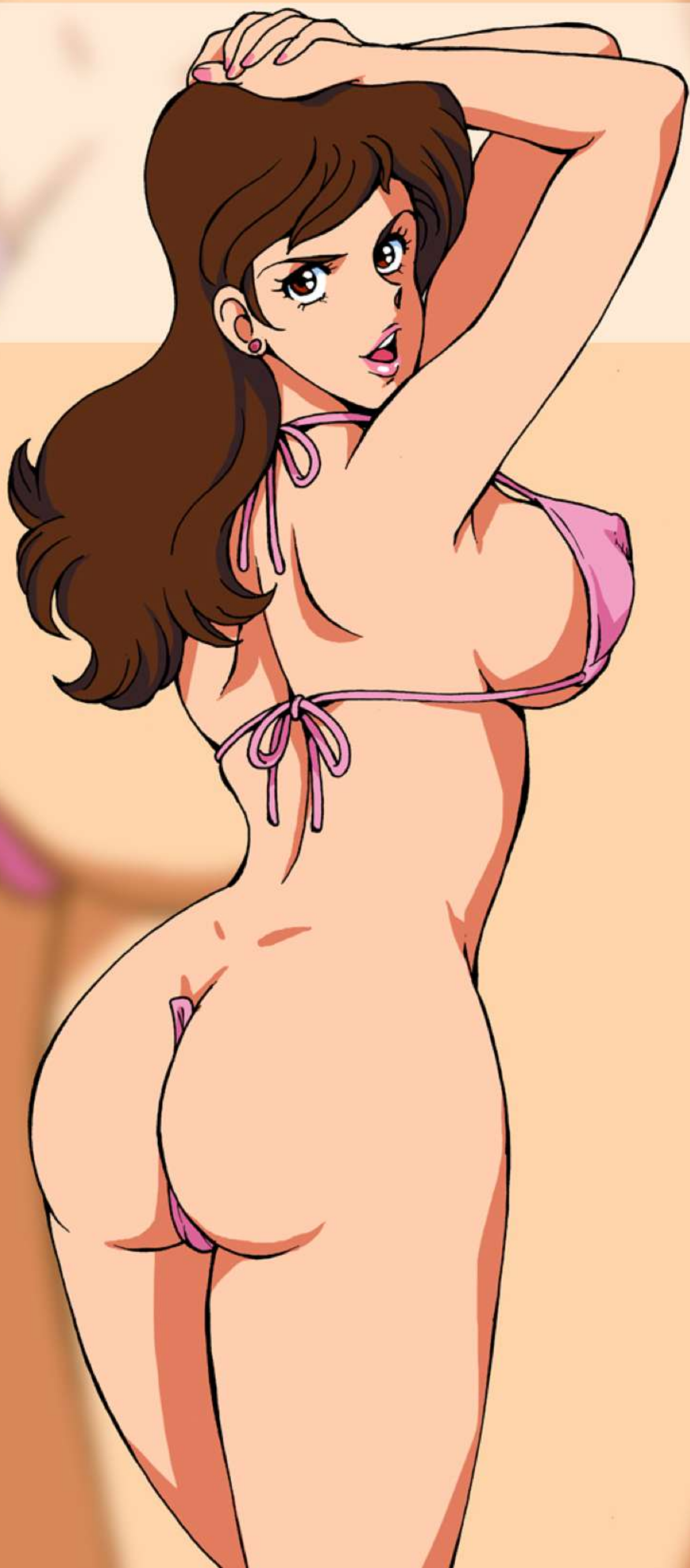
二〇〇〇年代に入ってよく見られるようになったデザインのビキニボトム。
ビキニの真ん中にある縫い目にシャーリングを入れて食い込みやすくしてヒップラインを強調するデザイン。

1BUCK

元々は下着としてデザインされたもので薄手のドレスなどで下着のラインが見えないためのものだった。二〇〇五年ごろからビキニコンテストの出場者が着用したことからビキニのボトムにも使われるようになった。



1BUCK



後ろから見ると尻の割れ目に挟まっている状態になっているのがわかる。

ワイヤが中に入っていて股間を下から挟むような感じで着用する。

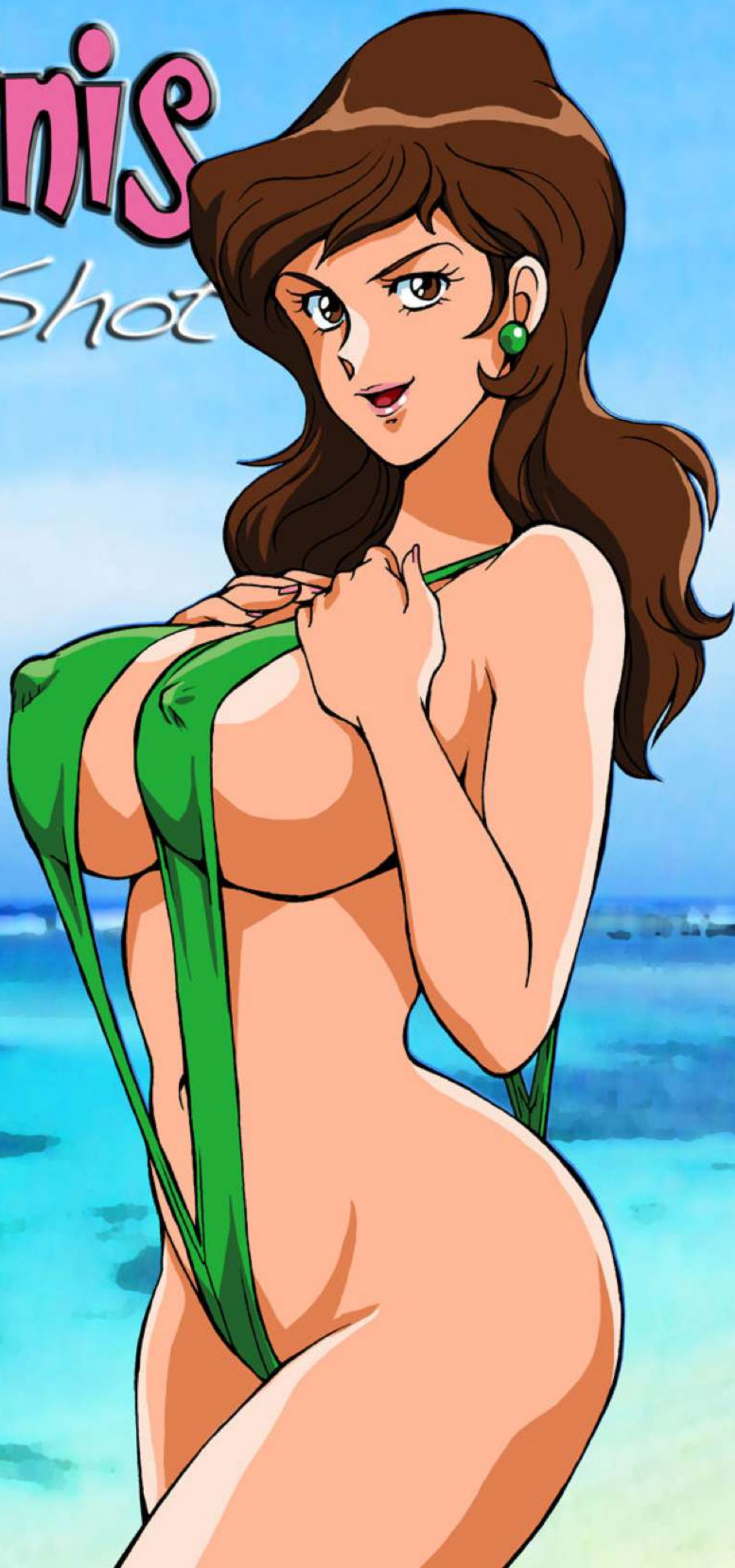
Bikinis Twist

ビキニズが九〇年第中頃にツイストという名前で発売した水着。胸の部分でクロスさせて着用するがサスペンダー状に真っ直ぐのままでも着ることができるといえる。



Bikinis

Sling Shot



変態仮面が着用したことで有名な水着。

ビキニズが九〇年代中頃にスリングショットという名前で発売した。

知名度が高いため定番化し、リング付やバックをヒモ状にアレンジした

ものなどが様々なメーカーから発売された。

Bikinis



九〇年代中頃に発売されたワンピース。ピーカーブー・モノキニと名付けられた露出度の高いデザインのワンピースタイプの水着のシリーズの一つだったが、そのデザインからスパイダーと呼ばれるようになり、メーカーが名前を変えたほど人気があった。

Bikinis

Crossstop twist



ビキニズが九〇年代中頃に発売したモノキニ。

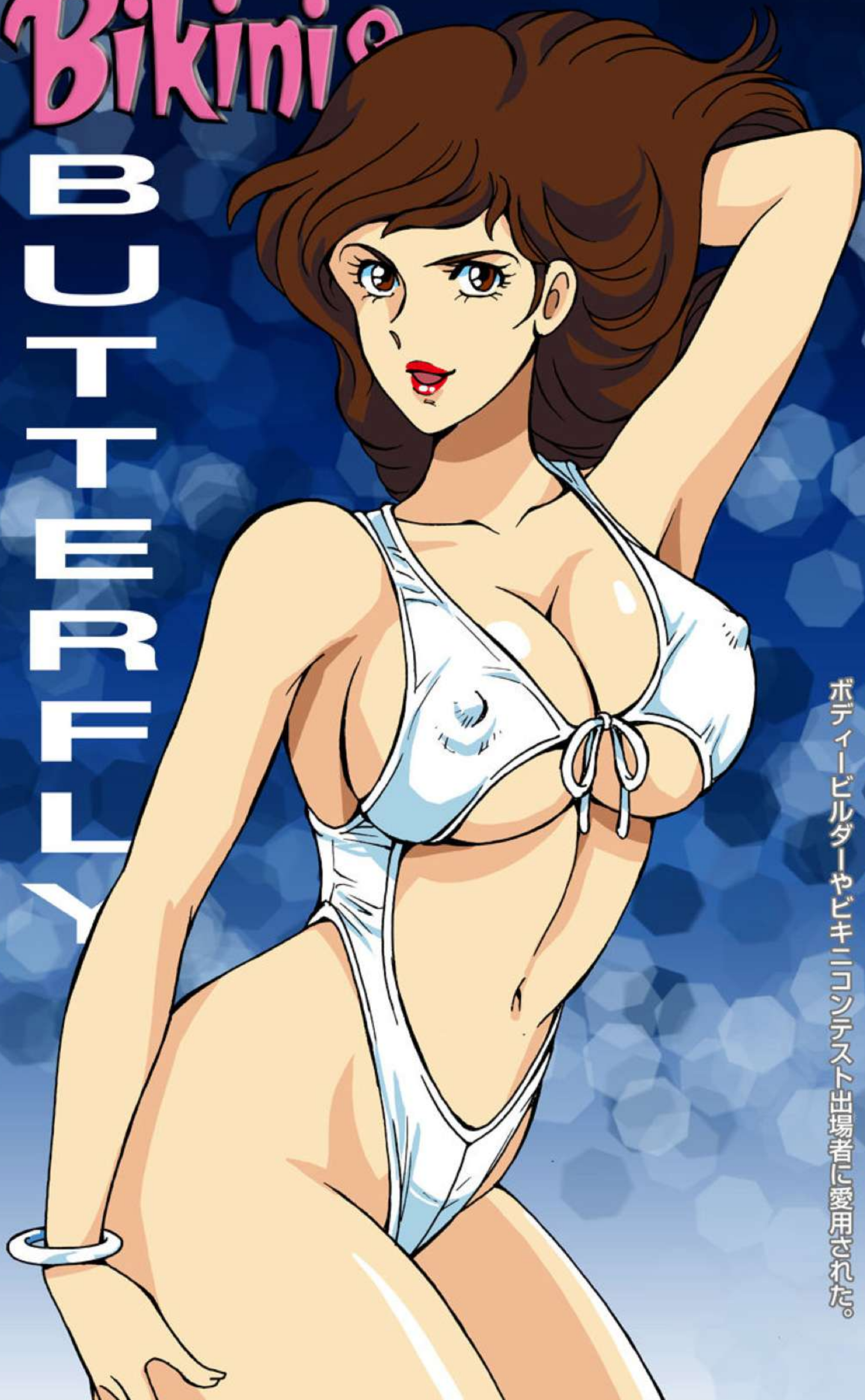
クロストップツイストという名前で発売された。

当初はダンスウェアとして発売されたため、グローブとセットになっていて生地もラメや
スパンコールの物があった。

同じデザインのものが他のメーカーからも販売されXワンピースなどとも呼ばれた。

Bikiniia

BUTHERLEAF



ビキニズが九〇年代に中頃にバタフライという名前で発売したワンピース。

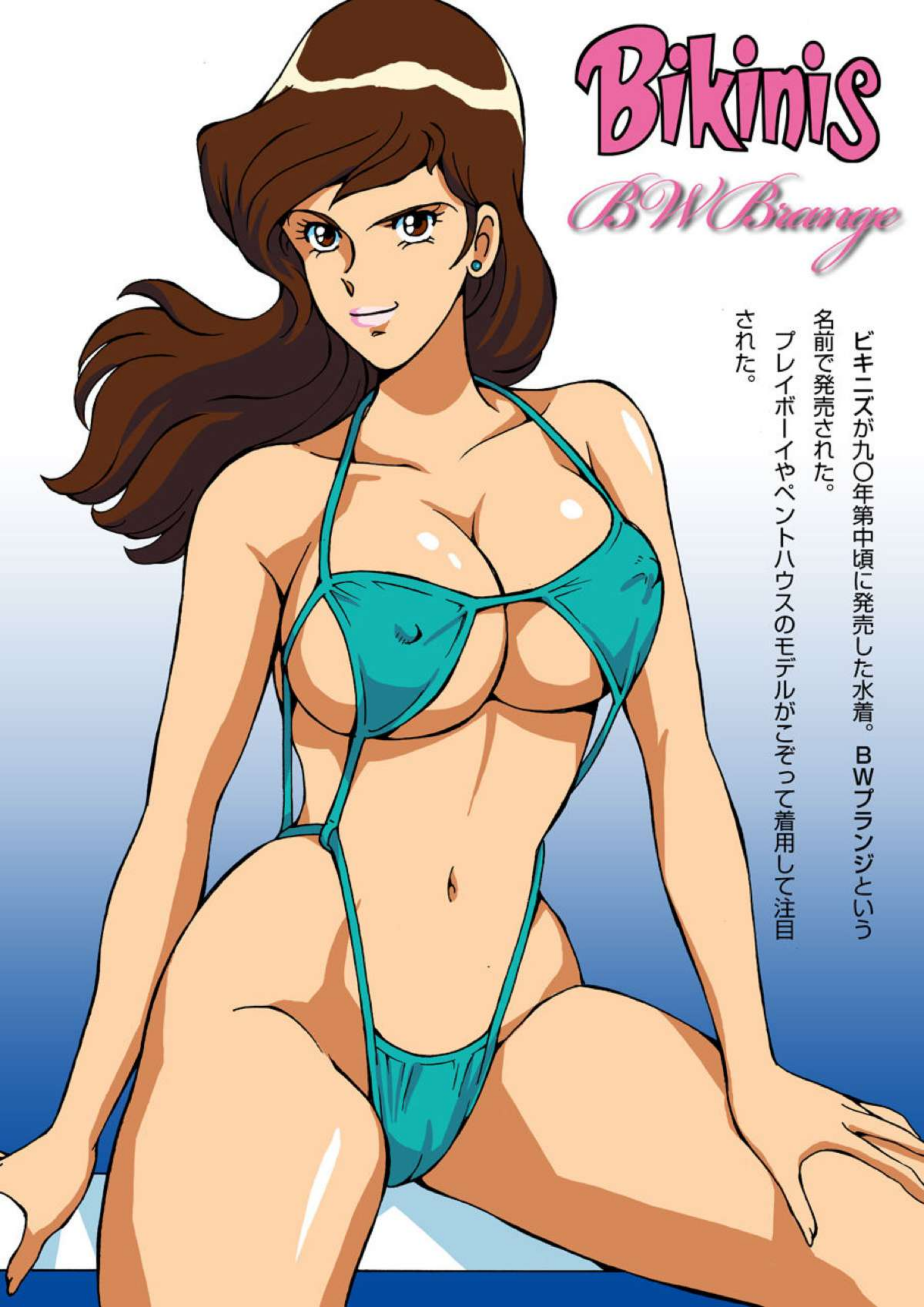
ボディビルダーやビキニコンテスト出場者に愛用された。

Bikinis

BW Brange

ビキニズが九〇年の中頃に発売した水着。BWブランジという名前で発売された。

プレイボーイやペントハウスのモデルがこぞって着用して注目された。





REALISE



日本のリアライズが競泳水着をベースにデザインした水着。
薄手の透ける生地で作られているのが特徴。普通の水着より
タイトなサイズで作られているので背中にジッパーがつけられ
ている。

UJENA

SWIMWEAR

Doble Dip

アメリカ最大手の水着メーカーのユジーナの定番ハイレグワンピースがこのダブル・ディップ。

ハイレグ全盛期から変わらず発売され続けている息の長い水着。日本のディプロからも似たデザインの水着が出ていた。

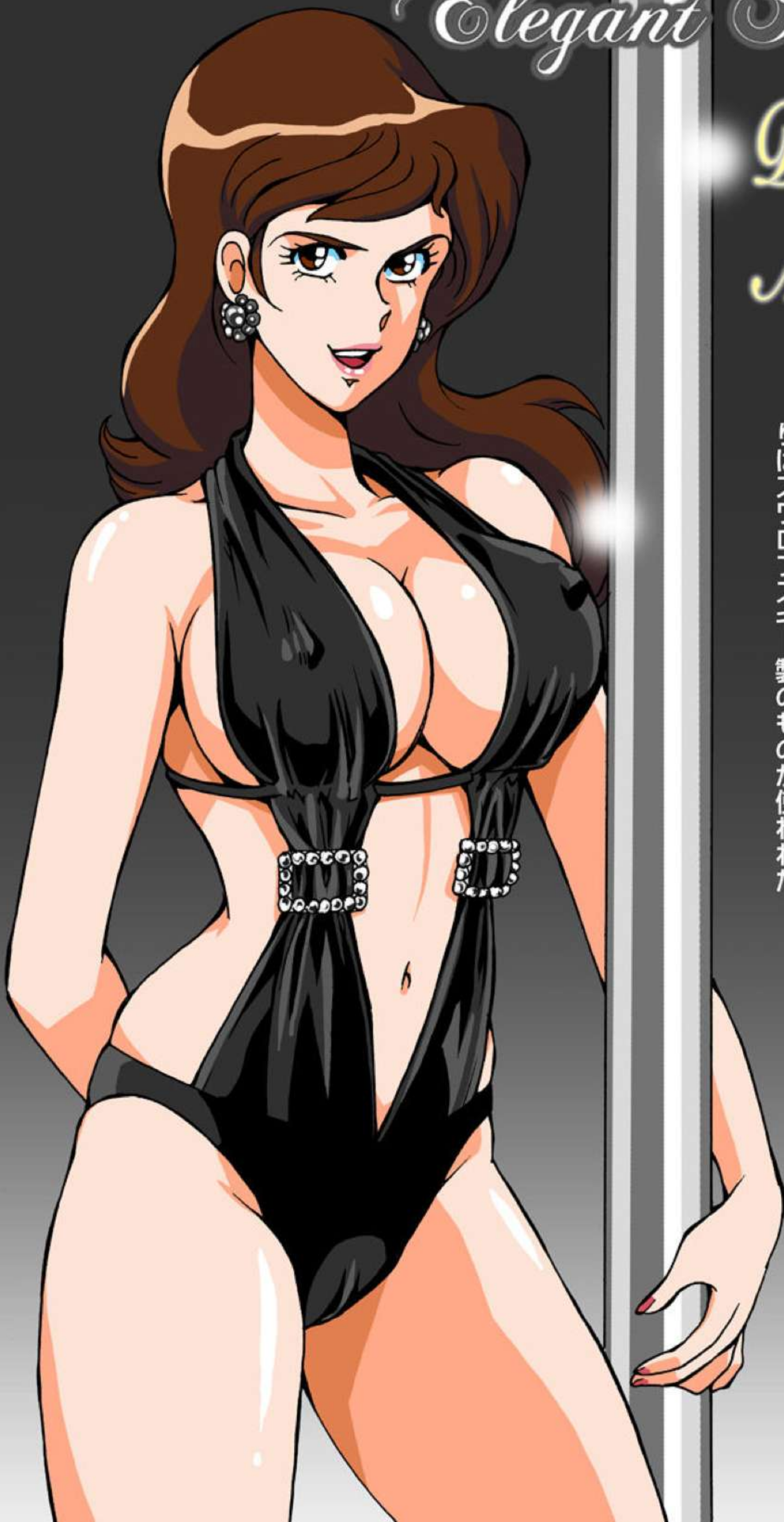


Elegant Moments

Diamond Monokini

パリス・ヒルトンがハンバーガ・チエーンのカールスJrの「コマーシャル」で着用して有名になったが水着。

コマーシャルで使われた水着はアメリカのランジェリーメーカーのドリームガールが販売していたダンスウェアのデザインを借りて製作されたオリジナルモデル。オリジナルデザインのものよりハイレグにされている。バックルの飾りはスワロフスキー製のものが使われた。



COQUETTE



下着メーカーのコケットが一九九〇年代末頃発売していた水着。
透明なシリコンストラップとウェットライクラと呼ばれる濡れたような
光沢のある生地が特徴。
ストラップが透明なため遠くからは濡れた生地が体に張り付いているよ
うに見える。

the-**Bikini**.com

Cross Topless Swimsuit



ザ・ビキニが二〇一〇年頃に発売。

二〇〇〇年代に入ってからアメリカでも日本でいう着エロを売りにした水着モデルを使ったサイトが流行り、そういったサイトに当時するモデル向けの水着が多く作られるようになった。

*Teardrop
Micro Sling
One-Piece*

COLLEEN KELLY
DESIGNS



コリン・ケリーがティアドロップビキニのワンピース版として発売した水着。

ストラップは透明なものと銀色のもののが選べるようになっていた。このデザインも多くの水着メーカーが同じデザインのものを作った。

本作品は成人向けとして制作されたものです。

18歳未満の方の閲覧購入は各自治体条例および法律で規制されています。

登場人物はすべて成人を描いたものです。人名、事件、名称は全て架空の物であり、いかなる実在の人物団体とは関係ありません。実在の名称等との一致は全て偶然の産物によるものです。

作品の著作権はマカロニ組と秦皇司および著者に帰属します。

本作品は個人として楽しむ以外は、いかなる複製、改変ならびに第三者が閲覧可能な環境への転載、データベースへの組み込みを含め全てのメディアへの無断転載を禁じます。これには使用されている画像、文章、デザインなどの全てを含みます。



不二子のエロ水着図鑑

2019年7月7日発行

著者 闇黒堂深海魚

久我山砲台

装丁 久我山砲台

発行人 秦皇司

発行 マカロニ組

<http://macaroninews.blog.fc2.com>



2019

EXCITING
MICRO
BIKINIS
CATALOG

